

令和5年度 福井大学医学部看護学科学学校推薦型選抜Ⅰ試験問題

小論文 A

注 意 事 項

- 1 試験開始の合図があるまでこの冊子を開いてはいけない。
- 2 解答は必ず解答用紙の所定の欄に記入すること。
所定の欄以外に記入したものは無効である。
- 3 解答用紙は持ち帰ってはいけない。
- 4 問題冊子及び下書き用紙は持ち帰ってよい。
- 5 解答にかかる前に必ず受験番号を記入すること。

次の文を読み，設問に答えなさい。

著作権の都合上，この部分は公開しておりません。

著作権の都合上，この部分は公開しておりません。

(出典：香西豊子「予防接種という＜衛生＞ 種痘の歴史の反照から」現代思想(38-3)，青土社，2010年より抜粋，一部改変)

<語句の注釈>

注1) 東漸：東の方へ伝わり，広がること。

注2) 斃れなくなった：病気や事故により，急に倒れたり亡くなったりしていたことが改善された。

注3) 牛痘苗：牛痘（牛が感染する天然痘に似た感染症）により生じた膿の一部。

注4) 種える：植物の苗や種を地中に埋めること。この場合は牛痘苗を体内に接種することを示す。

- 問1 下線部①において、事態をいつそう深刻なものとした理由として、具体的にどのようなことが考えられますか。あなたの考えを述べなさい。(100字以内)
- 問2 下線部②において、天然痘は、なぜ「小児病」と呼ばれたのか説明しなさい。(100字以内)
- 問3 コレラと天然痘、それぞれの特徴・特性にもとづき、現代の看護師が取り組むことのできる感染予防行動について、あなたの考えを述べなさい。(350字～400字)

